



消防だより

11月の広報テーマ

「高齢者の焼死事故防止」

119

**お年寄りを火災から
守るために気をつけることは？**

朝 晩めつきり寒くなり、家庭では暖房器具を使用する季節が来ましたが、暖房器具周辺とくに移動ストーブの周りは常に整理整頓に努めてください。

また、お年寄りの方と同居される家庭で特にお願いしたいことは、普段元氣そうに見えるお年寄りであっても、火災の発生時は気が動転し素早い行動が取れず、動けなくなることが考えられますので、万一に備え、お年寄りの寝室は極力1階にするなどの配慮をお願いします。

**洞爺湖消防団の新たな歴史へ
虻田、洞爺両消防団統合**

平 成18年3月に合併し、洞爺湖町が誕生しましたが、消防団は、組織の機能上、虻田消防団と洞爺湖消防団の2消防団体制を敷いてきました。

この間統合に向けて話し合いがなされ、1年半の準備期間を

経て両団が統合されることになり、10月1日洞爺湖文化センターで、洞爺湖町消防団の結団式が行われました。

式典では、団長から各団員に辞令交付が行われ、町長より消防団旗が団長に授与されました。

そして長崎良夫町長が「一致団結して連携を深めて行くことを期待します」と挨拶し、全団員が改めて職務への高い意識を確認しました。

新団長には、寺島 勉さんが就任し、1本部4分団(121名)で新たにスタートを切ることになり



長崎町長から消防団旗が渡される



虻田消防団閉団式

なりました。地域住民の皆様のご協力をお願いいたします。

この統合にともない、これまで地域の安全のために貢献してきた虻田、洞爺の両消防団の閉団式が行われました。

虻田消防団は、9月28日、洞爺湖文化センターで閉団式が行われ、職団員や元消防団員などの来賓が見守る中、菅原団長より長崎町長へ団旗が返納。大正4年に公設虻田消防組を創設し、虻田警防団を経て、昭和23年虻田町消防団となり、数々の災害を乗り越えてきた同消防団の59年の長い歴史に幕が降ろされました。

一方洞爺消防団も、9月30日、とうや小学校で閉団式を行い、佐伯団長より長崎町長へ団旗が返納されました。大正5年に私

設火災予防組合として発足し、洞爺警防団、そして昭和23年洞爺村消防団に改編され、今日に至るまで輝かしい実績を残してきた同消防団の59年の活動に終符が打たれました。



洞爺消防団閉団式

洞爺湖消防団秋季演習

秋

晴れの下、10月17日(水)午後2時25分より、水の駅

を出火建物に想定した消防団(団長 寺島 勉)恒例の秋季消防演習が行われました。

この演習は新生洞爺湖消防団として初めて実施したものです。消防の組織に最も必要とする指揮命令、日頃の訓練で培ってきた迅速な消火活動を的確に行っていました。



実践さながらの秋季演習

特に、新消防団としての指揮命令や消火活動などは的確に伝達され、団員間の連携についても意気が合った行動を取っており、水の駅周辺には町民の皆さんと観光客が多数詰め掛け、勢いよく真上に高々と上がる壮観な放水に、盛大な拍手を送っていました。

統一標語

「火は見る
あなたが離れるその時を」

fire

● 9月の
● 火災件数 1件
● 救急件数 37件

